



らんま総受企圖
乱馬的合詞本

R18
ADULT ONLY



前書き

この度、手に取っていただき誠にありがとうございます！
今回はらんま♀総受合同の主催をさせていただきまして
豪華4名のゲスト様が参加してくれました♪
成人本はこれで二冊目の本でこの企画に参加された
ゲスト様には感謝しかありません！！
でも総受といいつつ皆様やはり……w
そこは見ろのお楽しみですよ(笑)それではっ！
ごゆっくり堪能してくださいませ〜〜〜♪

主催

おどち



ぞあああ...

びーすとラゲ★
おとち

バケモノめ!

くっくっく!
このっ!





気が付いたか
オカマ野郎

こめえは!

んげー
ぽ



んう...



あかねを
どこに!!!

なっ!
パンスト

きゅう



あの女か
抜け出して
逃げたんだらう

なっ!
あかねに何か
あつたらただじゃ
おかねえぞ!



はっ！

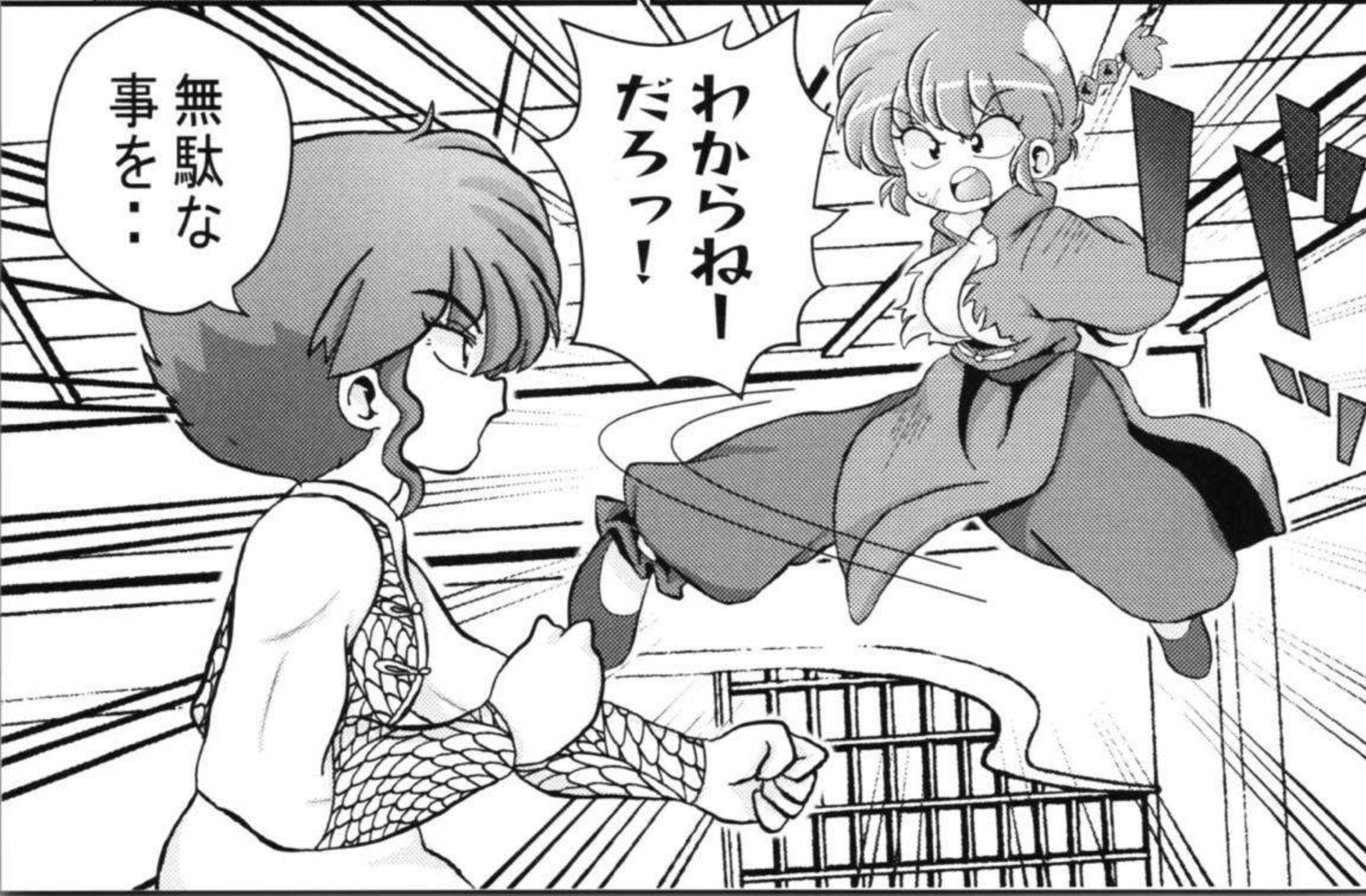
ギッ

無駄だ。



今のでめえに
俺は倒せねえぞ

やって
みなきや



わからねー
だろっ！

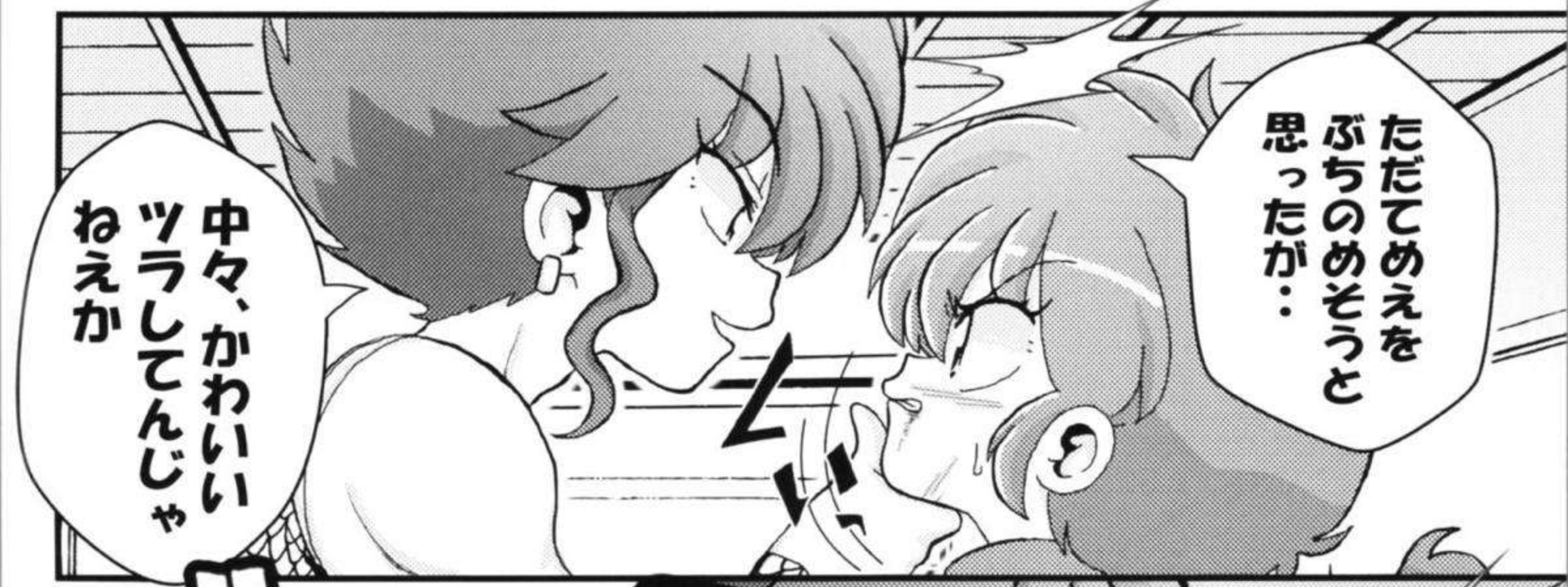
無駄な
事を：



俺をオカマ
呼ばわりして
無事だった奴は
いねえぞ！

どうした？
オカマ野郎
防戦一方じゃ
ねえか

くっ！
ギョッ



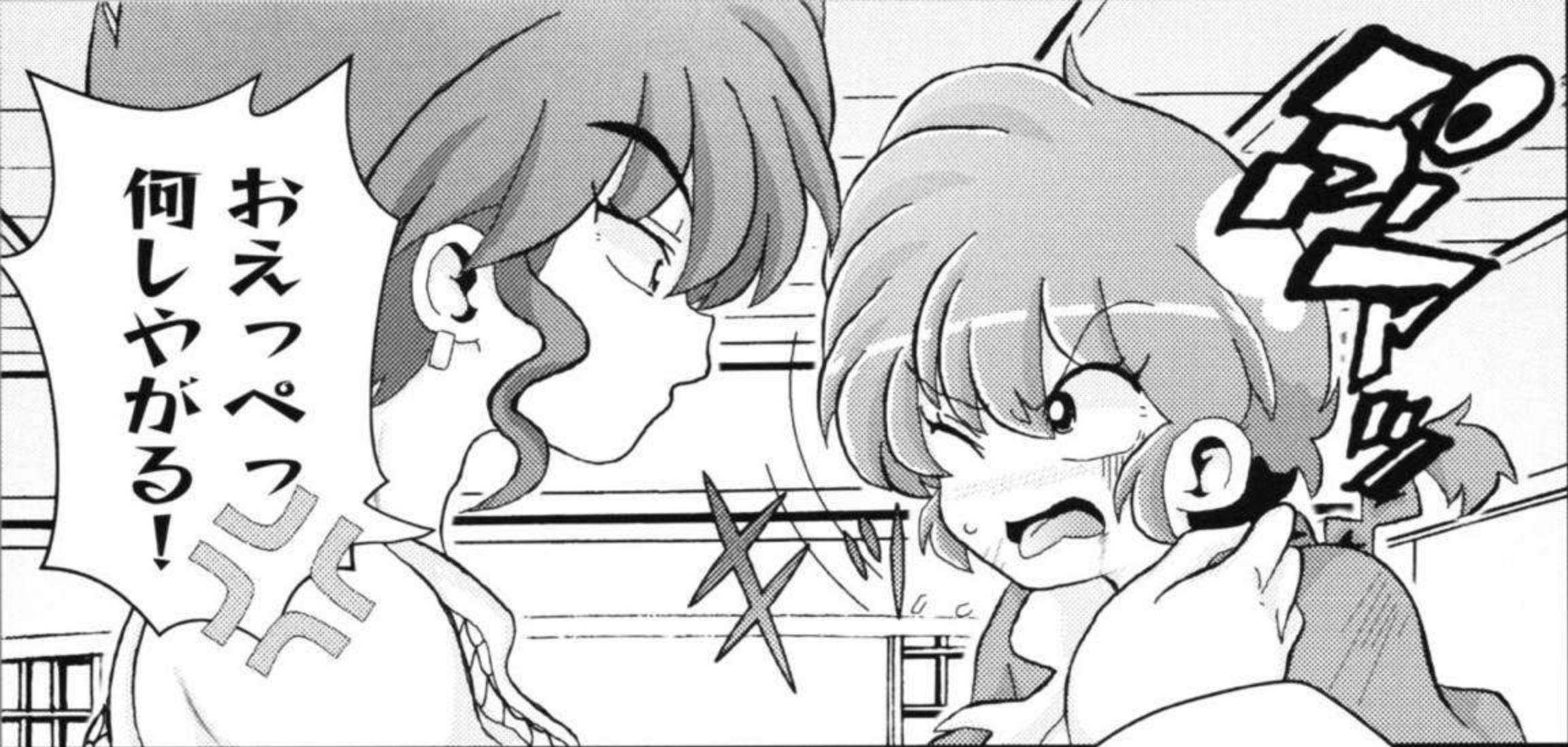
ただためえを
ぶちのめそうさ
思ったが…

中々、かわいい
ツラしてんじや
ねえか



ム

ちゅ



おえっペッ
何しやがる!

クハッ

ドドド



ニヤ

ぐふふ：
オカマ呼ばわり
されるのが嫌なら



俺がてめえを
女にしてやるぞ

ヒッ!
ヒッ!

ドドド

変態野郎
俺は男だっ

なっ何
しやがる！

てめえを
女にして
やるんだよ

かあっ...

はあはあ
はあはあ

いぢ

し
は
ん

はあ



ぐふふふ、こんな
事されて喜んでる
やつが男か？

初めてじゃあな...
他人にさらされて
気持ちいいか？

ぐふふ
もっと可愛が
ってやるよ！

ち...ちが！
こめえ！

オハアア

ア

あ

ア

あ

ムムム

ムムム



あぁ...!!
おっ!!

綺麗な色
っつねぞ

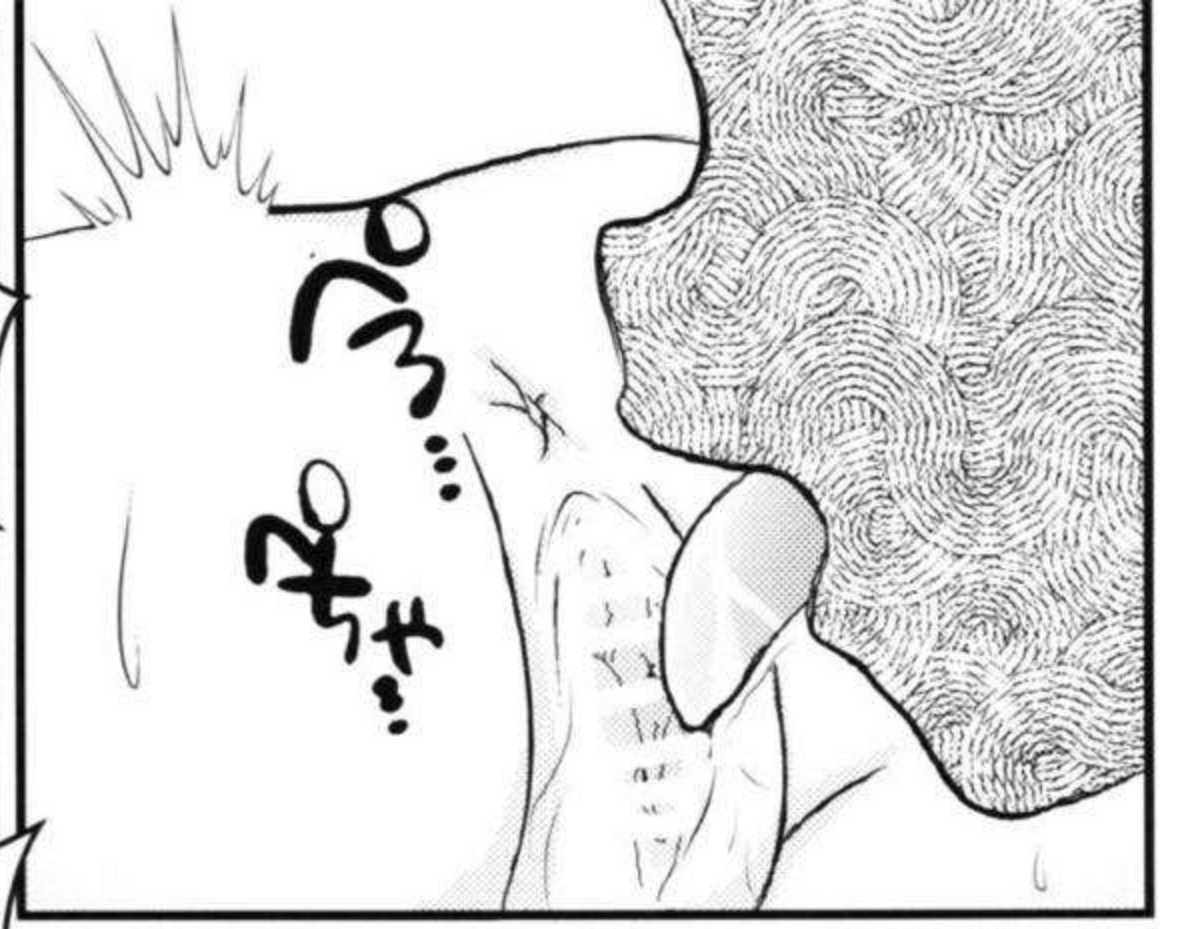


てめえは
絶対に...
ぶつ殺す!

ギロ

ぐふふ、
そうでなきや
楽しみ甲斐が
ないよなあ

ニヤ
ニヤ





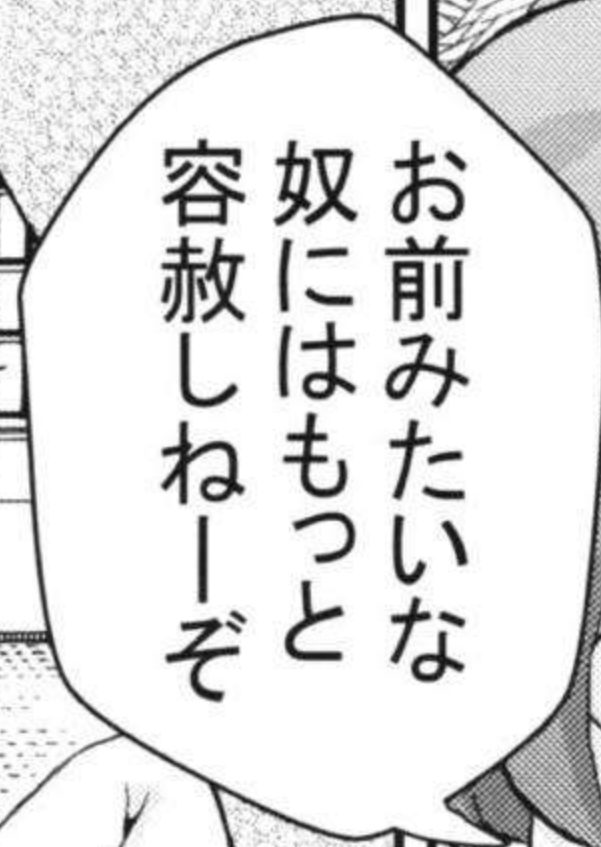
はあ
あッ

ぐふふ、そんなに
よかったか?

ん
ん...



俺は女にも
容赦はしねえが



お前みたいなの
奴にはもつと
容赦しねーぞ



クワッ...

……
へ?



「じつちも
よくして
もらおうか

なっ!
だれが



225



はあ

なつ何を
言つてやがる
俺は男だつ!

ぐふふ。

気持ち悪い事
いってねえで
放しやがれっ!



フツツてえな!
いきなり何!





なっ!?

お前が拒否
しようが
関係ねえ。



わっ!?

ぬっ!?



何言つて
あつ!?





おっおっおっ

おらっもっとな
腰をふって
射精させる。

おっおっおっ

しっかり
受け止め
るよ...!

おっおっおっ

おっおっおっ

どうだ、俺の女に
なる気になって
きたか？
ちゅ

のーは
だ…れがっ
このパンスト野郎！

んっ

ほお、
まだ愛情が
たりないか

ギロ

あ
ん

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ



あー... だ... だ...

ぬ...

だ... だ...

だ... だ...

ん... だ...

ぬ... ぬ...



パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

WOW!

WOW!

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

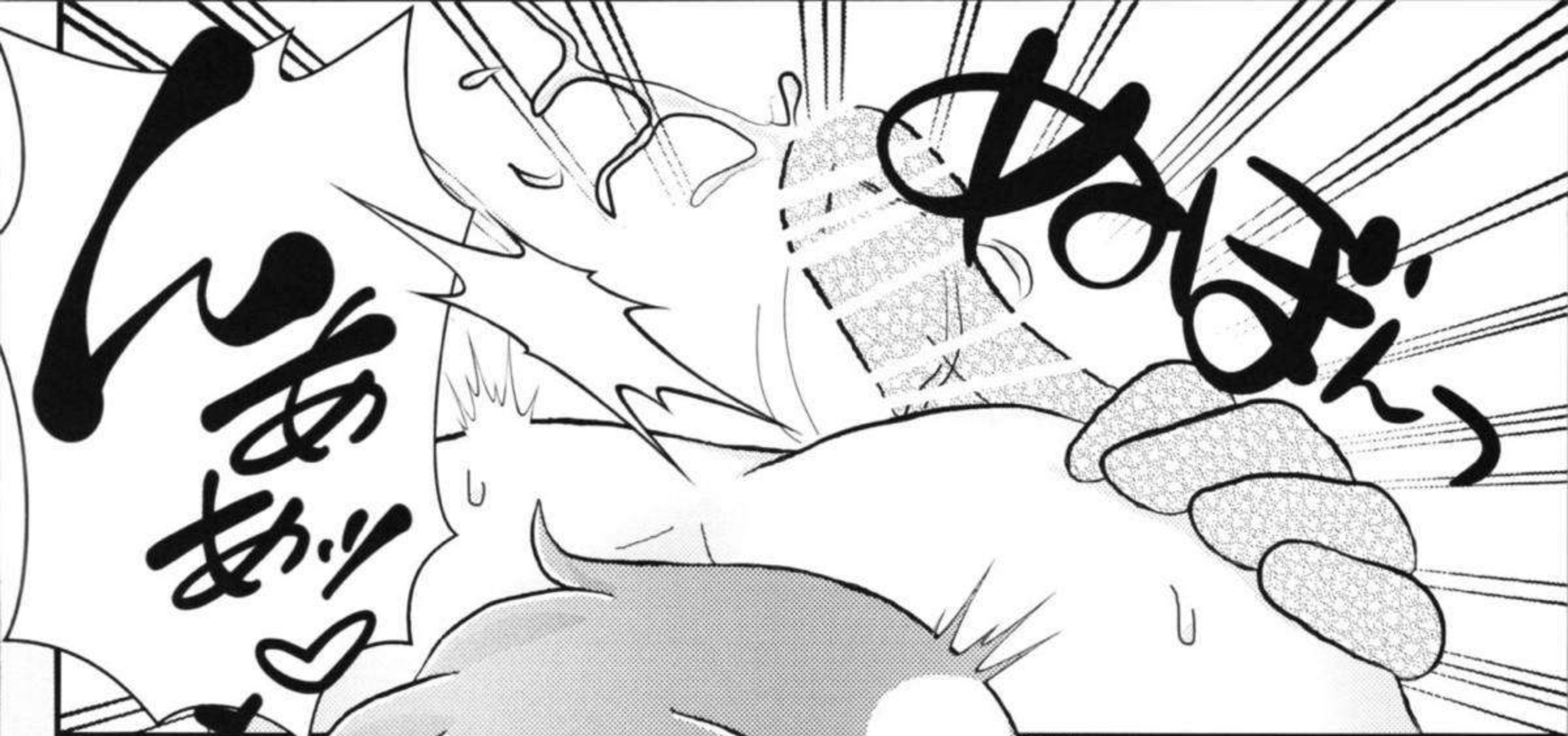


元は男なんだ
からここは
敏感だよな。



さっしやあ
ご褒美を
やるか。







ぐふふ、
気を失ったか
まったか

目的が変わったが、
こいつを手に入れ
たからよしとするか



私の
らんまに

なあにをっ

しんまのあー!

おんまのあー!

おんまのあー!



大丈夫ッ
らんまッ！



あ：
かね…？



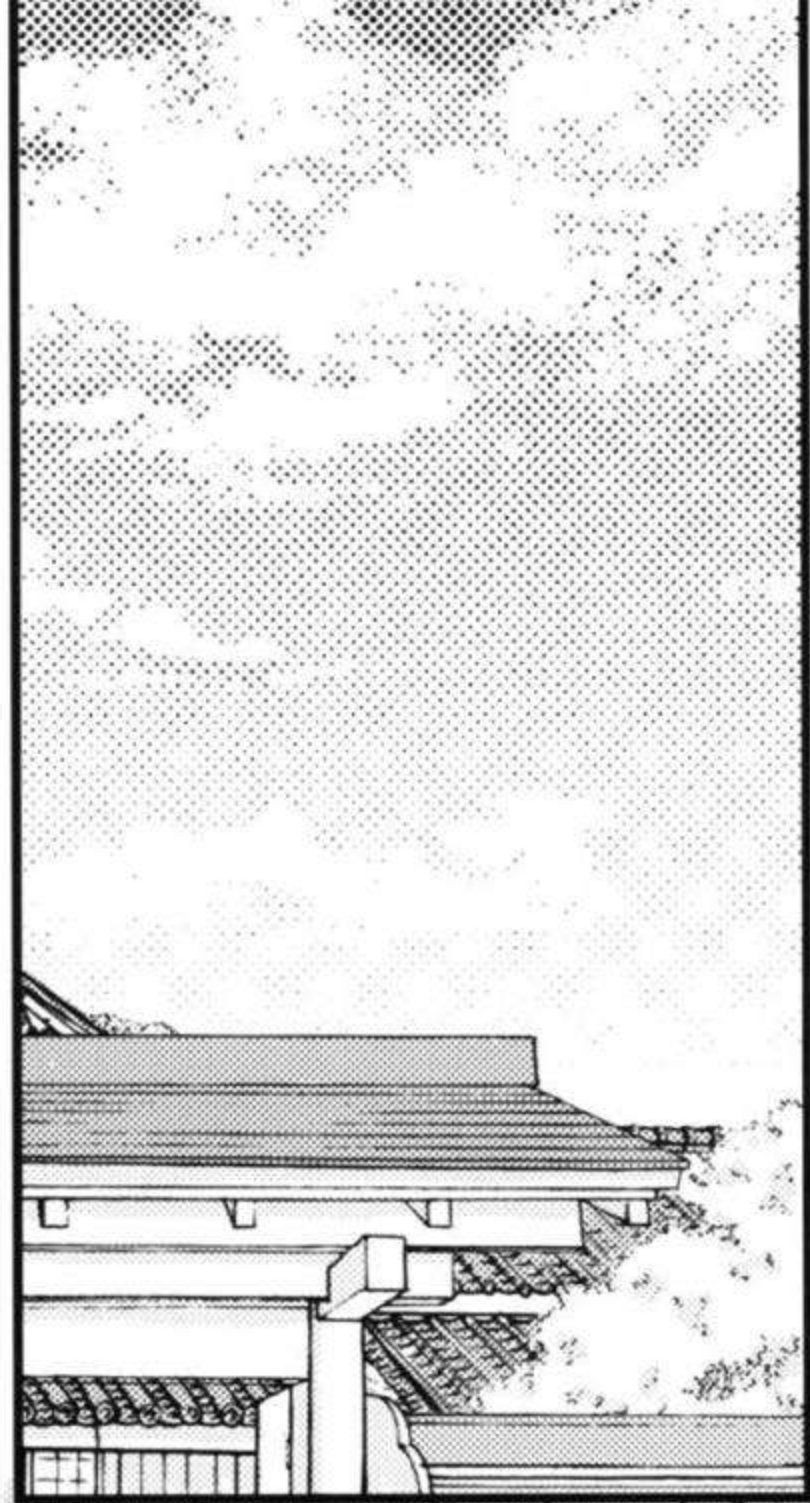
ッ！



ちゅ

らんまッ！

んんん



似合うわよ
らんま♪



かあっ...

もおろ!
だめよっ
約束でしょ?

おっおい:
あかねっ
女物は:

ホ

私が気の済む
まで言う事聞く
約束よね？

っ……！

明日からそれ
つけて学校
いくわよ

はあ？嫌に
きまつてる
だろ！

だめよ！女の
ままでしばらくは
生活するんだから

なっ！

こんなの
ばれたら……！

大丈夫よ、
私の傍に居れば
問題ないわ♪





続く...?



最近

こんな夢ばかり見る

永田まりあ

良牙...

下半身の
やたら生々しい
感触...



本物の行為も

やはりこんなに
気持ちいいのか?



フン…

お前なんて
所詮オレの
夢の中で搾取
されるだけの
存在…

搾取される側

?

うりやっ

まじやっ

らっ

乱馬~~~~!!

お前がそうやって
毎日毎日おちよくる
からオレは…っっ

~~~~~

相変わらず  
耐性ないな  
おまえ

~~~~~

朝から晩まで
~~~~~

end.





乱馬ッ  
……  
またか

良牙……

来たぜ♡



ハズ  
だったの  
だが……

恋の  
つり竿の  
一件で  
乱馬の胸の  
鯉は  
消えた



俺の元へ  
やつて来ていた

時折  
乱馬の胸に  
現れ  
では

早く  
しよー  
ぜっ



おめーの  
せいだからなっ

責任  
取れよ

コトの  
あとさき  
鷹柄ラムネ





乱馬っ……

ああっ♡

おれがあんな  
つり竿を

使った  
ばかりにっ

んあ♡



きもちいいっ♡

男なのに  
こんな

や憐れな  
つだ!!!

りよーが♡  
もっ♡

おっ♡  
おっ♡  
おっ♡



はー  
キモチ  
良かった!

良牙との  
セックスは  
やめらん  
ねーな♡

スッキリ  
した!

そあーだ

魚の落書き  
消しとか  
ねーとな!



終



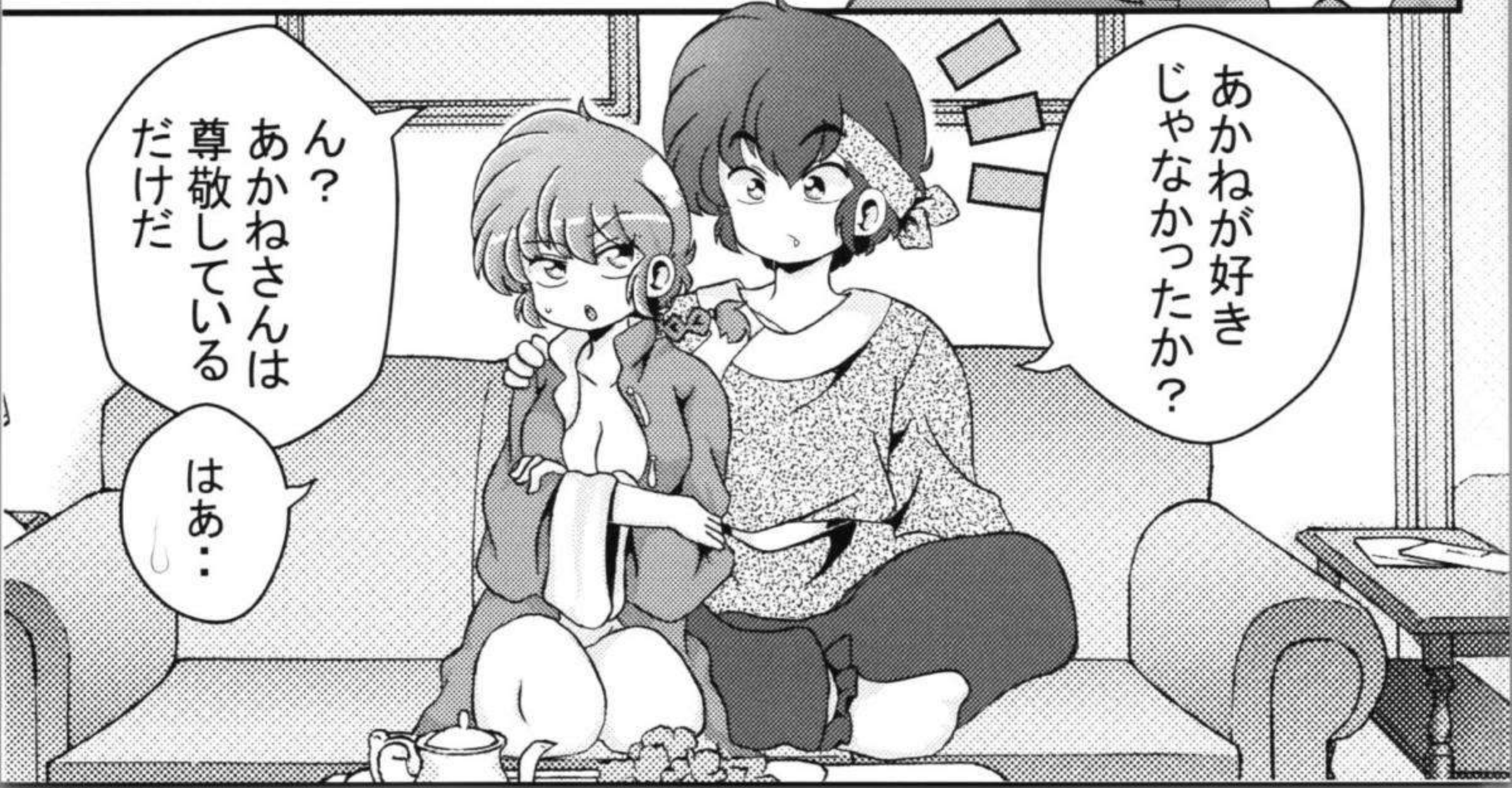


ジェルシー  
おどち

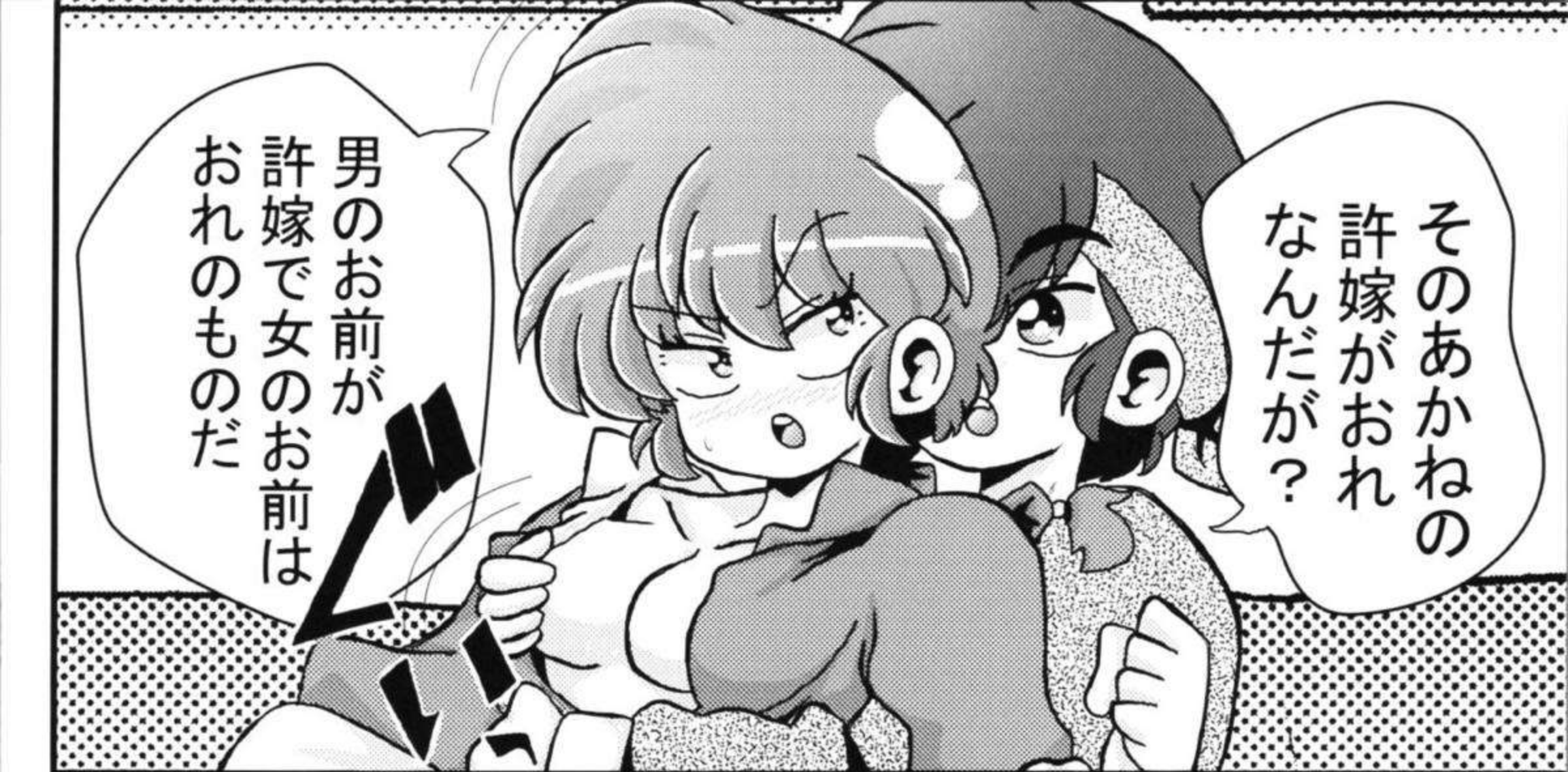


おどち...  
おどち...  
おどち...










そのあかねの  
許嫁がおれ  
なんだが？

男のお前が  
許嫁で女のお前は  
おれのものだ



どれも俺だよ  
んむうっ



なんだ？  
ヤキモチやいた  
のか？

うるせっ



アッ

ふぁ♡

な...にが

心配  
するな

俺はお前以外の  
女に興味はねえ

ぬる...

ばか：  
俺は男だよ

ふぁ♡

END











夜中の道場、その瞬間は人の気配がまったくなく、しかし、その静寂を破るかのように、そつと一つの影が道場の扉を開けた。影の主は早乙女乱馬。乱馬は何も言わず、道場の奥へと進んでいった。この時間、一人だけの道場。乱馬がこつそりとこの場所を選んだのには理由があった。それは、自身の中に秘められた『もう一つの自分』を誰にも知られずに満喫するためだった。

乱馬はそつと手にしたバケツの水に目を落とし、呟いた。

「さて、始めるとするか……。」

乱馬がバケツの水を自分の頭から浴びせかけると、瞬時にその姿は変わってしまった。グラマラスな女性の体形、かつて男だった自分からは想像もできないような美しい顔立ち。らんまの体はすぐさま女性へと変化した。

「やっぱり、女の姿も悪くないな。」

女性の身体に変化したらんまは数秒前の性別と変わらない男口調で言った。

らんまは自分の持ってきたバッグから、いくつかの服を取り出し始めた。ブラウス、スカート、そして、何よりも、女性の象徴ともいえるランジェリー。そのどれもが、らんまがこつそりと楽しんでいたと思っていた『女装』のアイテムだった。

一つ一つを丁寧に身に着けていくらんま。それは、まるで自分自身を新たな自分に変えていく儀式のようでもあった。最後にらんまが手にしたのは、ブラックレースのランジェリーだった。

「さあ、これをつければ、完璧だな。」とらんまは思った。そして、それを身に着けた。下着姿の女性へと変身したらんまは、鏡に映る自分を見つめ、ひとり満足げに笑った。

「やっぱり、オレ、この下着姿も悪くねえ、悪くねえ……。」

らんまはそう言いながらも、自分で自分を褒め称えた。それは、らんまが自分自身を受け入れ、女体を楽しんでいる証拠だった。

らんまは自分の下着姿を鏡に映して、じつとその美しさを確認していた。その瞳は、自分自身が新たな自分に生まれ変わった喜びと、まだまだ未知の領域への探究心で輝いていた。

以前にも、何度か女性用の下着を試した経験がある。初めてそれを着たのは、八宝斎の鬨気を引き出すための写真撮影の際だった。当時は、それが最後の手段だと思って、プライドを捨てて行動した。しかしその経験が、らんまの女装趣味を加速させていたのだった。身体にびったりフィットする下着の感触、そしてその姿を見た自分を忘れられなかったのだ。

そして、今夜は八宝斎の鬨気を引き出すためではなく、自分の満足のために着用している。

らんまは男口調で言いながらも、優雅に鏡に映る自分の姿を確認した。ブラックレースのランジェリーは、その体にぴったりと馴染んでいて、一層女性らしさを際立たせていた。らんまはその美しさに満足げな笑みを浮かべ、新たな自己を受け入れることに喜びを感じていた。

繊細なランジェリーを身に着けた自分の姿を、大きな鏡に映して楽しんだ。その姿は、女性としてのエレガンスと、トランジスタグラマーなボディが混ざり合い、新たな魅力を放っていた。

夜が更けていく中、らんまは自分だけの時間を満喫していた。自分が女性として美しくあること、その事実に関心を感じて喜ぶを感じ



ていること。そのすべてが、らんまを心地よく感じさせていた。

「ああ、本当によく似合ってるぜ……。」

らんまは自己を肯定する言葉を言いながら、何度も鏡に映る自分を確認した。その姿は、自分自身がこれまでに見たこともないほどの美しさを放っていた。誰が見ているわけでもないのだが、ナルシストと呼ばれても良い。そのように割り切って、楽しんでいた。

らんまは自分自身の中に新たな感覚を発見することに驚きながらも、好奇心に身を任せていった。

らんまの手は、自分の身体をなぞるようにゆつくりと動き始めた。その手の動きは、まるで新しい地図を描くかのように、まだ未知の領域へと進んでいった。その度に、新たな感覚がらんまの中を走り、それに驚きつつも、同時に新たな快感を知った。

らんまの瞳は驚きと好奇心で輝き、その手の動きを続けていった。自分の身体を探索する手の動きは、未知の領域への冒険者のようだった。それと同時に、まるで自分自身との新たな出会いのようでもあった。

「ああ、感じちまうよ……止まらない。ああ、なんだ、この感覚……すげえ……」と、自分自身の新たな一面に驚きつつも、それを受け入れていった。

らんまはその感覚に身を任せ、自分自身を満たす感覚に心地よさを感じていった。時間が経つにつれて、らんまの中にある感覚は高まり、その快感はらんまの全身を包み込んでいった。

それは、自分自身が新たな自分を発見し、その感覚を受け入れていく喜びの証だった。

らんまの感情は高まり続け、快感がらんまの身体を貫いた。らん

まの脳内は快楽の波に溢れ、その波はらんまの身体の隅々に広がっていった。初めて感じる感覚に、らんまはほとんど理性を失っていた。

らんまの手が、自分の身体をさらに敏感に愛撫し続けた。「ああ、なんだ、この感覚……すげえ……」と、らんまは自分自身の感覚に言葉を失いながらも、その快感を追求し続けた。

「んあ……やばい、イク……っ。イっちまう……」

らんまの吐息混じりの言葉が室内に響く。それは、彼女の中で何が壊れるような感覚と共にやってきた。それは新たな境地への到達を告げる、深い喘ぎ声だった。

そしてついに、その瞬間がやってきた。らんまの身体は一瞬でピークに達し、その感覚は彼女を瞬間的に白い世界へと連れて行った。らんまの心は全てを解放し、らんまの全身はその感覚によって揺さぶられた。

らんまの口からは、初めて体験する絶頂の声が溢れ出した。「ああ……っ、イツ……っ！」その声は、身体が感じる全ての快感を包み込むような、深い満足感を含んでいた。

身体を震わせながら、らんまは少しずつその感覚から現実へと戻ってきた。瞳を開けると、鏡に映る自分自身の姿がそこにはあった。その瞳は、初めて自分自身と向き合った満足感と、同時に新たな自分自身の発見に満ち溢れていた。

「これが……女の感じる快感……」と、らんまは鏡の中の自分に向けて呟いた。

END



迎えに来たゾ  
らんまあ！

ぐふふふふ！  
見るがいい  
この新兵器をっ

びゅん

なっなんだ  
その触手っ！

びゅん

バケモンに  
磨きをかける  
なーっ！

キョウウウウウウ



爆碎卓穴！

貴様つこの  
バケモン野郎め！  
俺の女に手を  
出すんじゃないやねえっ

良牙っ！

おめつおたッ  
おつ

たすッ  
ン

おん

良牙っ



おいっ！何を  
ぼーっとして  
やがるっ！

助けろお！

はっ！  
しまった！  
つい見惚れて  
しまった！

らんまを  
虐めていいのは  
俺だけだっ

何言っ  
やがるっ！



なんだ?  
てめーもらんま  
目当てか?

んおおお

らんまは既に  
俺の女だっ!  
あんなことや  
こんなことも  
してんだ!

ばっ!  
やめろっ

前回個人誌

「個人誌」で  
「合同誌」で  
らんまを  
上書きしたわっ

おめえら  
勝手なこと  
俺を巻き込むなあ!





てめえ！  
無かった事に  
されてたまるかっ

あきらめさ  
ぶちぶちさう！

あんた達：



あかね？

私の  
らんまに



何をして  
んのよーっ！



ところで  
私の話はいつ  
始まるんで  
しょうね？

あ乱個人誌①

それは…

無いなら  
今から作る  
までよーっ！

ひい！  
そっちは  
成人向けじゃ  
ねええー！

おしまい♪





こんにちは。永田まりあです。  
らんま総受け合同本お誘いいただき  
ありがとうございました！  
らんまに弄ばれる良牙くんが  
大好きです。事あるごとに  
おちよくってたらうっかり  
体の関係をもってしまう良らん  
ありますね…

普段は配信にて「とつおん！」という  
TSラブコメ漫画を連載しております。

Twitter: @maria\_na\_s

お誘い頂きありがとうございました！

唐突に昔好きだったらんまを思い出して描きだしたら  
らんまが可愛すぎてたまらなくTwitter(現X)で少々  
描いております。  
同人誌にお誘い頂くのもだいぶ久しぶりで  
フルデジで印刷する用の漫画描くのに至っては  
初めてなのでガクブルで描きましたが、  
早らんま受け精一杯楽しんで描かせて  
頂きました！ありがとうございました！

鷹柄ラムネ

Twitter(X)  
@bitansanramune

Pixiv  
<http://pixiv.me/ramunechaps>





どうも、おはこんばんは。今回参加させて頂きました  
「やまだあ」と申します。

自分もたまにらんまの絵を描いてますので今回の参加は大変嬉しく  
思ってます。

微力ながらではあるんですがこれからもお誘い頂けるなら  
参加したいですね～！！  
ありがとうございました。

X(旧Twitter)@yamadaa175

pixiv [pixiv.net/users/28651](https://www.pixiv.net/users/28651)



おどち様。この度は素晴らしい同人誌にお誘い頂きまして  
誠にありがとうございました！

小学3年生のときにらんま1/2のアニメ放送を見てから  
ずーずーずーっと女らんま大好きな人生を歩んできました。

ハーメルンというWEB小説投稿サイトにて

ちょっとスケベな主人公♂が女らんまと剣と魔法のファンタジー世界を冒険する

『女らんまと異世界冒険記X』を現在、挿絵満載で連載中です

ぜひ、女らんま好きな方に見てもらえたら嬉しいです。byRNOVEL



# 【奥付】

キミもトコトン！

発刊日/2023.12/31/コミックマーケット103

印刷会社/有限会社ねこのしっぽ様

発行/ワンオアエイト(代表/おどち)

連絡先/odochi@hotmail.com

Pixiv/users/1031244

X/@odochi86

- \* 本書は成人向け指定本です。18才未満の方のご購入・閲覧を禁じます。
- \* 本書の一部や全ての無断転載転用を固く禁じます。
- \* 本書のスキャン画像のインターネットアップロードを固く禁じます。





